



子どもの「わんぱく」応援します！

～わんぱく育てる冒険遊び場「こどもの森」がオープン～

と き 平成27年4月5日(日)オープン

ところ 練馬区立こどもの森緑地(羽沢2-32-7)東京メトロ有楽町線氷川台駅下車徒歩10分

5日、東京23区の中で最もみどりの保有率の高い練馬区に、「自然×冒険×交流」をコンセプトに掲げる「こどもの森」(羽沢2丁目)が開園した。

練馬区には、樹林地や農地が多く残されており、緑被率は23区で一番。練馬の魅力である「みどり」を活用し、木登りや虫捕りなどを通して子どもの「わんぱく」育てる冒険遊び場となっている。

開園式典では、近隣の開進第四小学校の児童も参加し、前川耀男練馬区長とともにテープカットを行った。また前川区長から練馬みどりの葉っぱい基金のキャラクターぴいちゃんへ「こどもの森住民票」が授与された。

式典後は、草木染めなどのオープニングイベントが行われ、あいにくの雨の中、子どもたちは「こどもの森」を満喫した。

2歳と5歳の子どもと来園した保護者は、「囲いがあって安心して子どもを遊ばせられますね。プレーパークのようにスタッフもいてイベントもあって、これからとても楽しみです。」と話してくれた。

開園時間は3～9月が9:00～17:00、10～2月が9:00～16:30で、12/29～1/3の年末年始のみ休園。0歳から利用可能で、年齢に合わせた楽しみ方ができる。5月のゴールデンウィークまでは、毎週末にオープニングイベントを実施予定。



【式典の様子(ぴいちゃんと子供たち)】



【草木染めの様子】

【開園の様子】

10時から練馬区議会議長や地元の羽沢町会長等を招いての開園式典が行われた。開園を記念して、近隣の練馬区立開進第四小学校の児童4名と前川区長、練馬区議会議長、同副議長、土地の元所有者の8人によるテープカットが行われた。

また、オープニングイベントとして、草木染めなどが行われ、野外ならではの工作に子どもたちは目を輝かせていた。当日は、親子連れなど、約50人が訪れ、イベントのほか、見晴らし台に登ったり、穴掘りや木登りなど早速「わんぱく」遊びを楽しんだ。こどもの森には、林や築山のほか、キウイ畑と野菜畑があり、今後畑開きや収穫イベントも行われる予定。



【ロープでブランコ遊び】

【23区で緑被率第1位の練馬区が「みどり」で「わんぱく」育てます！】

23区で緑被率が最も高い練馬区には、風格ある屋敷林や農地がまだ多く残っており、昔ながらの風景を今に伝えていく。今あるみどりを守り、増やすことは区の重要課題。「みどりの風吹くまち」ねりまの魅力を楽しみながら体感できる空間として、「こどもの森」を開園した。みどりの中で冒険遊びを通して、身近にあるみどりの大切さを感じること、冒険心あふれる子どもの「わんぱく」を応援することをめざす。公園面積は約3,000㎡で、将来的に約1.3haまで拡張する計画。

みどりの資源を活かし、子どもたちが自由に遊ぶことができる遊び場づくりに自治体が取り組むことは、23区でも珍しい。

【問い合わせ】環境部 みどり推進課 みどり計画係 電話 03-5984-1659

2015年4月5日(日) オープン!



こどもの森で、自然×冒険×交流!

練馬の住宅街にふと現れる、みどりの森。
 季節ごとに表情を変える自然のなかで、
 おもいきり遊び、冒険する。
 その体験が、子どもたちの未来を創り出す……。
 ここが、練馬の原風景。
 こどもの森へ、どうぞ遊びに来てください。



名 称：練馬区立こどもの森 開 業 時 間：3月～9月 9:00-17:00 / 10月～2月 9:00-16:30

所 在 地：練馬区練馬区西二丁目32番7号

ア ク セ ス：電車でお越しの方 有楽町線・有楽町線「水川南駅(2号出口)」より徒歩約10分

自動車でお越しの方 案内に駐車スペースがございます。

駐車場について 駐車場は観音堂用1台のみご用意がございます。公共交通機関をご利用いただきますよう、お願いいたします。

ウェブサイト：<http://nerime-kodomonomori.com>

- ご 利 用 内 容
 - 持ち込み道具は、ご自由にお使いください。バケツ、スコップ、ヒモ、等、本館などの遊び道具類は館内の道具入れにあります。上層等は『こどもの森の森』の中にあるので、スタッフにお声かけください。
 - 赤ちゃんグッズをご用意しています。大判タオル類、授乳ケープ等の貸出しが出来ます。リッドアツキは、スナモOKです。
 - すり箱、せり箱は、管理の所。△西口ウゴには遊具類をお貸し出ししますが、持ちこ、行った時、寒い等の場合は、必ずブルーリーダーを併せてください。

